

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、あんま圏域） 第2回会議 議事録

開催日時	令和4年9月22日（木）13時30分から15時00分まで
参加者	委員：14人 事務局：1人 その他：15人（高齢者福祉課：2人、東区長寿保険課：3人、天竜協働センター：1人、包括支援センターあんま：3人、関係機関1人、浜松市社協：3人、オブザーバー1人）
場 所	東部保健福祉センター 健康教育室・集団指導室
内 容	<p>1 会長挨拶</p> <p>2 前回の振り返り及び第2回の進め方について】 ・前回の振り返り及び今回の進め方について説明。</p> <p>【ほっとすーるによる事業説明】 ・前回協議体の中で質問が出た、「ほっとすーる」の事業内容について花木氏より説明を行う。</p> <p>3 【意見交換会】 地区ごとに分かれて上記の方向性を基にした進捗状況の確認と、意見交換を実施。</p> <p>4 各地区からの報告 地区ごとに話し合った内容について報告。</p> <p><u>蒲地区</u> ・新たな担い手を募集する方法として、11月に行われる蒲協働センターまつりにてチラシを300枚配布する。</p> <p><u>中ノ町地区</u> ・白鳥町買い物支援計画を説明。買い物支援の話はコロナ禍の影響でしばらく中断していたため、終わっていると思っていいが、再度説明をし、今後も継続的に話を進めていく。 ・今後について①保険の調整をする。②白鳥町で実施し、システムを作って於けば他でも使える。③買い物に限定せず、家事全般の支援が必要。④天竜区を見本にしていくとよい。</p> <p><u>和田地区</u> ・深刻なレベルで困っている人は、自治会と民生委員で共有している対象者が20数名いる。他は独居や高齢者世帯であっても別居している家族が支援しているケースが多く、何とかなっている。防災に民生委員が支援すべき方をピックアップし、自治会が支援を担当している。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物支援については、既存の販売店（遠鉄ストア、杏林堂、コンビニ）を有効活用するのは現実てきではないか。地域ごとに需要を取りまとめて、販売店と交渉してはどうか。販売店側の出店条件の確認も必要。 ・集いの場について、北島町で体操の集まりを開催氏、好評のため2回目も企画されている。他地区では、単発の企画が続いた結果サロンになった例もある。 ・集いの場と移動販売を組み合わせ、相乗効果を期待できないか。 <p>6 副会長挨拶</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中ノ町地区の買い物支援については、情報を整理し、委員や地区社協の関係者と情報共有しながら、実現に向けて話しを進めていく。 ・蒲地区のボランティア募集については 11 月末に行われる蒲協働センター祭りでチラシを配布し募集を募る。